

【事例共有 2】

① タイトル	血糖コントロール不良患者のフォロー ー薬物治療と生活習慣ー
② カテゴリー	処方薬の変更・追加・増減量
③ 患者背景	年齢：90 代 性別：女性 現病名：2 型糖尿病 慢性胃炎 低カリウム血症 便秘症 慢性心不全 高血圧症 鉄欠乏性貧血 診療科名：内科
④ 処方情報	・タケキャブ 20mg 1 日 1 錠 1 日 1 回 朝食後 ・ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5mg 1 日 1 錠 1 日 1 回 朝食後 ・トラセミド OD 錠 4mg 1 日 1 錠 1 日 1 回 朝食後 ・トラゼンタ錠 5mg 1 日 1 錠 1 日 1 回 朝食後 ・マグミット錠 250mg 1 日 3 錠 1 日 3 回 毎食後 ・テルミサルタン錠 20mg 1 日 2 錠 1 日 2 回 朝・夕食後 ・クエン酸第一鉄 Na 錠 50mg 1 日 2 錠 1 日 2 回 朝・夕食後 ・ビオスリー配合錠 1 日 3 錠 1 日 3 回 毎食後 ・ニコランジル錠 5mg 1 日 3 錠 1 日 3 回 毎食後 ・アスバラカリウム散 50% 1 日 1.8g 1 日 3 回 毎食後 ・ヘモクロンカプセル 200mg 1 日 3 カプセル 1 日 3 回 毎食後 ・インスリングルルギン注 1 日 1 回 昼食後 6 単位
⑤ 来局時の患者情報	施設入居中の患者で、糖尿病など複数の疾患で治療中。 空腹時血糖値が 170 台→200 台に悪化 入居時のインスリングルルギンの単位数は 4 単位だったが随時 増量し 8 単位までに。 メトグルコ 250mg 1 日 2 錠 1 日 2 回 朝夕食後 追加 メトグルコ 250mg 服用で一度空腹時血糖の値が 160 台までに下がり落ち着く。 再度空腹時血糖値が悪化。200 近くまで上昇。 インスリングルルギン 単位数 8 単位→10 単位に増量に。
⑥ フォローアップの理由とプラン	新規薬剤（メトグルコ）追加と用量変更に伴う状態確認が必要だった ・低血糖症状等の副作用の有無 ・アシドーシスの様子 ・服薬状況の確認 ・嗜好品の有無 ・間食の有無
⑦ フォローアップ内容	訪問診療時から 1 週間後、薬剤を配薬時に実施。 1 週間の生活習慣を施設職員（介護職員・看護職員）から聞き取りの結果、最近ご家族の訪問があり、お菓子の差し入れがあったと発覚 →血糖値の上昇は、間食の頻度が増えたことが原因の可能性あり 服薬介助によりコンプライアンスは問題なくインスリンの投与方法も問題ない SE も特にないことを確認

⑧ 処方医への フィードバック内容	報告書にて連絡・次回訪問診療時にフォローの内容について報告（SE は特になく、間食の注意喚起で対応のため）
⑨ 算定の有無	服薬情報提供料算定なし
⑦ やってみた感想	施設に入居していても施設職員がご入居様の生活習慣のすべてを把握することは難しい。 生活習慣の変化もこまめに確認する必要がある→今回は服薬後のフォローアップで確認できた 在宅の場合、外来と比べると報告書が義務の為フォローアップがしやすい。 緊急性があるものに関しては電話にて連絡後に報告書にも記載するようにしている。